１２／１２　校長室より №335

16 日(土)に置賜地区アンサンブルコンテストが高畠町の“まほら“で開催されます。それに向け、本日の朝会で壮行演奏を行いました。今回出場するのは「管打楽器六重奏」一組。緊張の上、寒い体育館での演奏、しかも１名が欠席ということで大変な中でしたが、現時点での精一杯の演奏を披露しました。

壮行演奏会では次のような激励の言葉を贈りました。

吹奏楽部1・2年のみなさん。みなさんは、定期演奏会が終わり、3年生からバトンを受け取ったわけですが、3年生という大きな支えがなくなり、しかも人数が減ったこともあって、きっと不安の中でのスタートだったのではないでしょうか。しかし、そのような中でも、みなさんは懸命に練習を重ね、熱い思いを持って今日まで来たことと思います。

みなさんは発展途上です。今の時点で、不安や心細さ、迷いがあるのは当たり前。それは他校も多かれ少なかれ同じです。3年生だって、初めから堂々としていたわけではありません。そのことを自覚した上で、勇気とチャレンジ精神を持って、現段階での最高の演奏をしてきてください。

少人数での演奏になるので、弱気はダメです。一人ひとりがベストを尽くしてこそ、ボリュームのある演奏ができ、心に届くハーモニーになるはずです。そして、コンテストを通して、成長するし課題も見えてきます。

コンクールまで残りは少ないわけですが、今年の飯豊中のキーワードの通り「本気」の練習をし、当日も「本気」の演奏で会場を「感動」させてくれることを期待します。